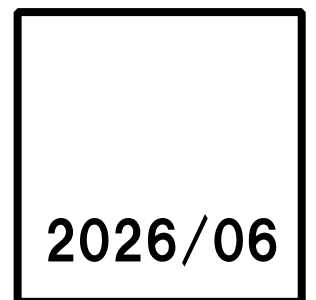




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



お肌の日焼けや紫外線が気になる季節がやってきました。

そこで今回は、夏の日射しからお肌を守る技術を、各社の熱い熱い思いが詰まった社史で探ってみてみたいと思います。



「1」 お肌を守る紫外線対策

まずは、紫外線対策です。『花王120年』（2012年刊）によると、1988年に発売されたUVケア商品について、「これは、肌の老化を促進させるUV-A波に注目して開発され、日常生活での紫外線からの保護を新たに提案する商品であった。夏季のUV-B波による日焼け防止だけでなく、UV-A波は日常的に肌を老化させる紫外線であることを訴求し、年間を通じた使用をアピールしていった。」とあります。

1991年には、紫外線防止効果を向上させた商品の発売に合わせ、「紫外線防止キャンペーン

ンを実施し、消費者に対して紫外線防止の必要性を訴えた。」そうです。

「2」 お肌を白く、美しく

美白に有効な新成分についても、各社の努力がありました。株式会社ナリス化粧品品の『化粧品をつくっている者の考えること』（1992年刊）には、ビタミンC配合クリームについて、「当時ビタミンCの有効性は知られていましたが、クリームに入れると分解し、効力をなくすという問題がありました。そこでナリスは技術を駆使し、クリームに配合しても安定する処方業界で初めて開発しました。」とあります。

また、『コーセー70年の軌跡』（2018年刊）には、1990年に発売された商品について、「麴がつくり出す物質であるコウジ酸に美白作用があることは経験的に知られていたが、このコウジ酸が有効成分として新たに認可されたこ

とで、コーセーはいち早く美白化粧品への応用に取り組んだ。制度品メーカーでコウジ酸を有効成分として使用できたのは、コーセーのみであった。」ことが書かれています。

「3」 夏用の化粧品

夏用ファンデーションの歴史も調べてみました。株式会社アルビオンの『夢の50年史』（2007年刊）によると、1976年に業界初となる水を使わないファンデーションが誕生し、1978年には、水でも水無しでも使えるファンデーションの先駆的商品が登場しました。この商品は、「水とスポンジを使わないスピーディな仕上がりと使用感の良さ、逆に水を使う清涼感とカバー力の利点」の両方に対応できることで、「多くの女性のニーズを捉え、専門店のサマー市場を圧倒するヒット商品となった。」とあります。

夏のお肌を守りたい

（裏面へ続く）

(表面から続く)

「4」 夏の日射しからお肌を守る素材

次は少し趣向を変えて、紫外線の遮熱や遮断などに関する「素材」が記載されている社史をご紹介します。

『堺化学工業百年史』(2019年刊)には、化粧品に使用される素材について複数の記述があります。その中から3つ素材をご紹介します。

1つ目は、表面処理を施したFINEX(超微粒子酸化亜鉛)。日焼け止め乳液として製薬メーカーに採用されており、「高密度シリカで表面処理された酸化亜鉛は、日焼け止めに含まれる数多くの原料と反応せず、また、分散性にも優れている。そのため、化粧品メーカーから高い評価を受け、受注が増加した。」とあります。

2つ目は、六角板状酸化亜鉛「XZシリーズ」。「UV(紫外線)をカットする機能を持ち、さらに六角板状というユニークな形状による優れた感触が特徴で、肌に馴染むことから日焼け止めファンデーションなどのメイクアップ向けに使用されている。」とあります。

3つ目は、赤色蛍光体材料「HLK」。「アルミン酸カルシウムにマンガンを微量添加した製品」で、血色の良い肌に見せることができる肌に安全な化粧品原料として使用されています。「肌に悪影響を与えるUVをカットするだけでなく、発光に

変えて肌をより美しく、より輝いて魅せることができる材料として「UVを味方にする」という新たな発想を実現した。」とあります。

続いて『東レ90年史』(2018年刊)には、ユニクロの大ヒット商品について書かれています。ユニクロと東レの取り組みは、1999年からスタートし、2000年にユニクロから「二次製品だけでなく、糸綿・紡績糸・テキスタイルでも東レと組みたい」との要望を受け、「共同で、新商品開発、製造・販売のグローバル展開に取り組む」関係を、2006年には「戦略的パートナーシップ」関係を構築することに合意しました。

このパートナーシップの第Ⅱ期締結後の共同開発商品の1つが、大ヒットした高機能インナーです。キュプラと異形断面ナイロン糸を使用した女性用商品と、極細のポリエステル糸を使用した男性用商品を統合したグローバルブランドとして、世界展開を始めたとあります。



紹介した社史の中には、当時の商品の写真や広告が掲載されているものもあります。皆さんが使っていた商品や懐かしいものが見つかるかもしれません。ぜひお手にとってご覧ください。各社の知識と技術が詰まった頼もしいアイテムを味方にして、この夏も乗り切りましょう！

(企画情報課 奈良橋・水田)

『社史フェア in 千代田2026』開催します！

入場無料
申込不要

毎日新聞社との共催で、「社史フェア」の特別版として「社史フェア 2025」展示社史や、「昭和100年」を当館の社史と「毎日フォトバンク」の写真で振り返る企画展を行います。

日時：2026年7月23日(木)・24日(金) 午前11時～午後5時30分

会場：毎日ホール(東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル地下1階)

●問合せ先 神奈川県立川崎図書館 企画情報課

213-0012 川崎市高津区坂戸 3-2-1 かながわサイエンスパーク 西棟 2F

電話:044-299-7825

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>